

資料① 農地耕作条件改善事業の活用

- ★田んぼダムに取り組む場合、**畦畔の更新**や**排水桝の整備**が定額助成で実施可能
- ★ソフト事業では**田んぼダム堰板の購入**も可能です。

1. 事業の概要

事業主体：市町村、農業法人、土地改良区、多面的機能支払事業の活動組織など

事業内容：畦畔の更新整備、排水桝の更新整備 等

負担割合：国100%の定額助成

＜主な採択要件＞

- ・流域治水プロジェクトが策定された水系であること(県内は全ての流域が該当)
- ・**ハード事業費が200万円以上**であること
- ・受益者数が、農業者2者以上であること
- ・農地中間管理事業との連携概要、水田貯留機能向上計画、農地耕作条件改善計画を作成していること

2. 主な工事メニュー



資料引用：農林水産省農村振興局
「田んぼダム手引き」より

②の事業費200万円以上のめやす

3反区画のほ場：約3.4ha以上

1反区画のほ場：約2.0ha以上

○畦畔の更新整備

年数が経過し、高さが低くなったり、漏水を起こしているような**畦畔の改修工事**を行うもの（畦塗りは対象外）

①全て農業者施行で実施	11.0万円/100m
[②市町村発注で実施	16.0万円/100m]
＋ ③幅広畦畔の場合	＋5.5万円/100m
＋ ④購入土が必要な場合	＋3.0万円/100m
＋ ⑤購入土(幅広畦畔)の場合	＋10.0万円/100m
＋ ⑥防草シートを設置する場合	＋15.0万円/100m
※幅広畦畔とは幅が30cm以上の畦畔のこと	

全て農業者施行で、購入土を用いて幅広畦畔を補強すると、①＋③＋⑤＝26.5万円/100mが交付されるよ。



○排水桝の更新整備

老朽化した排水桝を**田んぼダム専用桝**（機能分離型）等に更新するもの

①全て農業者施行の場合	3.5万円/箇所
②市町村発注の場合	5.0万円/箇所

※田んぼダム専用桝の付属堰板も単価に含む

畦畔の更新整備と併せて実施するのがオススメだよ。



3. 関連ソフトメニュー

○条件改善推進費

田んぼダムの効果算定や実施計画を策定するための調査実証、地元における話し合いに要する経費、印刷物に要する経費等として活用可能な他、2.の「排水桝の更新整備」を行わない場合は、**田んぼダム堰板単体での購入配布**が可能

- ・単年度当たり300万円まで、最大5年、年度間融通可能（1年目1,000万円＋2年目500万円等）